


# BMS 3月例会のご案内

—124th Bungeiken Metropolis Seminar—


 2026年3月1日(日)9:30~12:30

 **大東文化会館 K404 研修室** (オンライン併用)


東武東上線池袋駅より約 15 分、「東武練馬」駅下車歩4分(大東文化大学板橋キャンパスとお間違いのないように。4Pに経路図掲載)

 **テーマ①:「モチモチの木」**(齊藤隆介/光村・東書・教出  
3年)の授業

報告:**秋山亮介**さん(千葉文芸研 流山市小学校)

 **テーマ②:詩「生きる」**(谷川俊太郎/光村6年)の分析・解釈

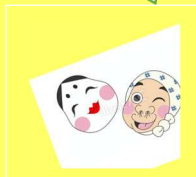
資料提供:**上西信夫**(東京文芸研 元千葉県小学校)

 **参加申込** (ハイブリッド方式) リアル参加は先着40名とさせていただきます。申し込みについては、リアル参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。現地参加、オンライン参加共500円

参加申し込みは <https://bms202603-bungei-tokyo.peatix.com/> から

(出典:島田陽子「続大阪ことばあそびうた」編集工房ノア1990)

8月1・2日  
は大阪大会



A みてみええなはんしんはなええみてみ

(いちいはんしんはいちい)

B かつてみてみてみでつか

A かつまでまつか

B あかたれたなはんしんはなれたんかあ

A やめやはんしんはやめや

(たいがあすますますあがいた)



B なんてだめやめだでんな

(たいがあすあがいた)

A かなんなあはんしんはあなんなか

阪神タイガース(回文) 島田陽子

弱かった  
ころの

 文芸研東京学習会 (BMS) 連絡先: 上西  [nobu.uenishi@outlook.jp](mailto:nobu.uenishi@outlook.jp)

次頁から  信天翁通信

## 文芸研東京学習会(BMS3月例会)のご案内

—124th Bungeiken Metropolis Seminar—



📷ハウス栽培のイチゴ 苺狩りのビニールハウスの蜂たちは嫌われながら働いている（東京都 上田結香 朝日歌壇） 東京近郊のイチゴハウスでは、イチゴ狩りで賑わっている

🍓大寒波が襲来し北海道・東北・北陸はじめ各地で雪害が報じられています。寒さの底の1月25日、BMS1月例会を行いました。東京サークル事務局の西さんは、前々日まで5年雪国体験学習の引率で新潟県十日市から帰ってきたばかりで、墨絵のようなモノクロ写真の風景写真とともに豪雪の凄まじさを報告してくれました。

🍓1月例会は、報告①「海のいのち」（立松和平／東京書籍・光村図書6年）を松山幸路さん（大阪文芸研枚方サークル）にお願いしました。昨夏文芸研千葉大会で大好評だったレポートをオンライン参加でお願いしました。レポートの評判を聞き、いつもよりオンライン参加者が多い例会となりました。象徴的暗喩的な表現が多い教材の特質を生かし、子どもの疑問から出発し、どの子の発言も深く意味づけ繋げようとした詳細な授業事実に多くの賛辞の感想が寄せられました。子どもの主体的な学びを保障し、西郷文芸学（教科の科学）に裏打ちされた教授行為・教えの創造とが統一した——「主体的・対話的で深い学び」の文芸研の典型実践として説得力のある報告でした。

🍓報告②は上西が「3学期教材 これだけはおさえよう」—「スワンレイクのほとり」—（小手鞠のい／光村図書4年）の資料提供。昨年2月例会での論議を踏まえ小手鞠のい



🍎 例会後、例会で扱う教材以外の個別の相談にも応じています。事前に連絡をください。カンとセンスとブームの国語の授業からの脱却、教科書会社の指導書・赤刷り・ワークシートに頼らない授業構想力の獲得一視点・形象の相関をふまえた切実な共体験の形成、文芸体験の思想化・典型化の授業づくりをめざします。23年夏の山口大会、24年の徳島大会、25年の千葉大会、各地の「国語の教室」や講座で初めて文芸研の理論と実践に接し興味をもたれた方、国語の授業づくりに困っている方、深い学びを願っている方、教職をめざしている方、青年学校受講生の方、各地のサークル例会が開催困難なサークル会員の方々……の参加をお待ちしています。

## 例会会場案内 大東文化大・板橋キャンパスとお間違いなく



大東文化会館へのアクセス：池袋駅より東武東上線各停で7駅（約15分）、東武練馬駅（大東文化大学前）下車。どの出口からも徒歩3～4分／学習会会場は3階か4階研修室（40人収容）、9時から13時まで借りています。（山中吾郎さんに尽力いただき、3月1日まで予約済み。今から予定に入れてください。エデュカス東京・麴町より大東文化会館までの所要時間がかかる方もいると思いますが、引き続きリアル参加にご協力ください）

## インフォメーション

▼文芸研60回記念大会（大阪大会）プレ・オンラインセミナー⑥2月21日（土）20時～22時 オンライン 無料 講師：齊藤鉄也さん（北海道文芸研）「子どもの主体性は、こ

うして育つ—北海道へき地小規模校の実践から—」11Pに案内チラシ／2月14日（土）ブレ・オンラインセミナー特別企画2「探究を生み出す教育的認識論」無料 講師：徳水博志さん（宮城文芸研）／2月28日 特別企画3／3月21日 特別企画4

▼千葉文芸研国語の教室（オンライン） 1月31日（土）9時～12時 「かきこじぞう」（岩崎京子 教育出版2年）講師：辻恵子さん 10Pに案内チラシ、詳細は文芸研HPをご覧ください。

▼八王子文芸研基礎講座 2月13日（金）18時～20時 八王子市立高嶺小学校 ハイブリッド方式 「おてがみ」（アーノルド・ローベル作 三木卓訳 教育出版1年ほか）講師：上西信夫 13Pに案内チラシ、詳細は文芸研HPをご覧ください

▼次年度のBMS例会予定（原則第1日曜日）9時30分～12時30分 大東文化会館（東武練馬駅下車）

・4月5日（日）9時30分～12時30分 大東文化会館 予定

▽「文芸教育」（西郷竹彦創刊・文芸研編・新読書社刊）最新137号 特集「国語の授業で平和学習を／136号特集「今こそ平和教育を一戦後80年の節目に」1700円＋税 学習会場でも用意しています。年間購読をお願いします。

▽光村版・新教科書指導ハンドブック（学年別）発売中／新読書社より各学年1700円＋税 セット割引有／この学年でどんな〈ものの見方・考え方〉を育てるかの観点で編集

▽文芸研授業シリーズ好評刊行中！ 第1弾「たぬきの糸車」（新読書社）・第2弾「一つの花」・第3弾「おおきなかぶ」・第4弾「わらぐつの中の神様」・第5弾新刊「サーカスのライオン」／教材分析と授業構想・授業記録がこの一冊に。板書や発問が参考にでき、使いやすい・わかりやすいと好評。入門書として最適です。各1000円＋税



文芸研授業シリーズ 新読書社刊 1000円＋税



「文芸教育」新読書社刊 1700円＋税

「朝日歌壇・俳壇」より 子ども・学校・ことば・世相・戦争を詠む

友達と「あり、をり、はべり、いまそかり」渡り廊下をけんけんばする（奈良／山添葵）古典文法ラ行変格活用を遊びでクリアー

わたしには手の届かない人だから今日も見てるだけ 皇帝ダリア（相模原／榎本ハナ）  
 教科書を繰（く）る少年の凜とみゆあまたスマホを見詰める車内（盛岡／山内仁子）  
 頑張っている子どもらに大人らが「頑張れ」と言うマラソン大会（観音寺／篠原俊則）  
 しがみつき泣く子を強く抱きしめる駐屯基地の空砲響き（ひたちなか／安澤美幸）  
 日常の景色となりぬ幼な児が乳母車に乗りスマホ見ている（八王子／井上紀子）  
 笛持って登校班の後を追うこんなところにも熊が出るとか（宇治／小堀裕子）  
 育児とは例えば朝に水筒を洗って夜にまた洗うこと（熊本／貴田雄介）  
 給食費小銭ばかりで持ってきた児童の瞳卒業の朝（吉野川／喜島成幸）  
 バスに乗り船に乗りバスに乗り新幹線に乗って佐渡より母来る年の瀬（さいたま／齊藤紀子）  
 ひとつだけバツテンだったと不満顔「小川」の右に「ちいかわ」とあり（富谷／川村空也）  
 美しく泳ぐことより冬の陽の揺れる水面を掴みたい吾子（柏／伊藤智紗）  
 中三の面影だけで読む賀状すでに不惑を迎える君ら（出雲／塩田直也）  
 サンタクロース捕える罫を仕掛けた子だったと毎年語る古希の母（神戸／浅田拓史）  
 夜勤明けの少女ら異国語交わしつつ笑い声のこし通りすぎたり（一宮／園部洋子）  
 スーパーの有人レジに列をなす取り残された人々の群れ（市川／中沢庄平）  
 人里に下り駆除されるクマはみな森では負け組そんな気がする（西海／前田一揆）  
 母国とは何なのだろう日本に生まれ中国に帰さるるパンダ（さいたま／齊藤紀子）  
 Loving の e の行方を探すからきみは giving の e を追って（横浜／久武和子）  
 戦争は指一本に起こりえること知りたりレーダー照射（観音寺／篠原俊則）  
 ワンコインで君は一食僕は二食同じ仕事で正規、非正規（高砂／松本明正）  
 アフガンの75万救い逝く中村哲氏悼む冬来る（尼崎／小石絹子）2019年12月4日武装勢力  
 に銃撃され73歳で歿。「人は愛するに足り、真心は信ずるに足る：アフガンとの約束」（中村哲と澤地久枝の対談／岩  
 波現代文庫社会 328 2021年）を読み返す

今年こそ逢おう賀状今年又（愛知県東郷町／有元洋剛）これこそ年賀状の極みと評  
 無理筋の願ひも加え初詣（大阪／上西左大信）

**第42回朝日俳壇賞**（1月11日紙上にて発表。選ばれた4句は以前に「信天翁通信」に掲載したもの  
 ばかり。ちょっと自慢）

- 去来忌や俳句は今も無用の用（さいたま／佐藤勇治郎）小林貴子選
- ふるさとの山ことごとく雪の山（長野／縣展子）長谷川權選
- 人生を狂はず戦敗戦日（石川県能登町／瀧上裕幸）大串章選
- 亀よ亀ここがロゴスだここで鳴け（大阪／上西左大信）高山れおな選

**第42回朝日歌壇賞**（1月18日紙上にて発表。選ばれた3首も以前に「信天翁通信」に掲載したもの。  
 前回の朝日俳壇賞と合わせて8分の7の確率）

- 癌に臥す妻の細髪洗いおりて我は悲しく勃起せしなり（狭山／奥藺道昭）永田和宏選
- 「生きるため死体の上を歩いたの」ばあちゃんと僕が出会えた理由（筑後／近藤史紀）  
 川野里子選

○安青錦物の見事な「内無双」母国は戦火に包まれながら（川崎／宇藤順子）高野公彦選  
魯迅（ルーシェン）と藤野先生ならび居て視線を受けつつ入る図書館（仙台／浅川照夫）

「働きて働きて病む秋の暮」仁科芳雄は辞世句遺す（藤枝／市川篤）日本の現代物理学の父ともい  
われる仁科芳雄。例の「働いて…」からの連想と註

過多は駆除希少は保護と人間の基準で分けられ熊と猫熊（和歌山／貴志眞澄）

☆少しずつ少しずつあともどりしてやがてあやまちくりかえすでしょう（東京都／無京水彦）

佐賀関大火災に漁師はなげく関鯖の一本釣りの釣り具焼けしを（大分／岩永知子）

見上げれば風車、見渡せばメガソーラー都会を支える過疎地の景観（札幌／田巻成男）

焼夷弾どんなものかと問う我に訥々と語る父の嗚（き）声よ（太田／岡島由美子）嗚声とは「声  
がれ」「しゃがれ声」のこと

マスクして年齢不詳のつもりだがシニア割引しますと言われる（仙台／小野寺寿子）

のどかなる雪野に思ふ異国には軍靴のの散らす雪のあること（南魚沼／木村圭）

「家をどう飾るかよりも守るかだ」ゼレンスキーがクリスマスに言う（観音寺／篠原俊則）

国技なれど海外力士の優勝に祖国の国歌を聴かせたきもの（東京都／漆原静枝）三首ともウク  
ライナのこと。2022年2月24日ロシア侵攻から4年目。2か月後4月ダニール・ヤウフスィン（安青錦）来日

ほのぼのと子らと歌ってきたけれど歌えなくなった「森のくまさん」（山口県／庄田順子）

熊年の終（おわ）りて馬の年来たる（福岡／釋堀硯）

原初より熊は神なり祀（まつ）るべし（横浜／正谷民夫）熊も狼も神だった。何という零落ぶりかと註  
切なくて熊の一句に呻吟（しんぎん）す（川崎／神村謙二）呻吟するとは、苦しさや痛み、悲しみのため  
に「うめく」「うなる」こと。駆除されたクマ25年度は1万2千頭超えとの報道あり

八百万（やおよろず）のひとつの神のクリスマス（世田谷区／野上卓）何もかも八百万に溶かし込む。  
宗教の沼地、ニッポンと評

「僕たちはどう生きるか」に挟まれて九万円の請求書あり（西尾／深谷瑞樹）

大気圏突入の飛行士のごとく絶えたり友の交信（五所川原／戸沢大二郎）

もの言はぬ駅伝選手に監督とアナウンサーが絶叫してをり（西条／村上敏之）

厳かに早朝の宮静まりて多くの願いが湯気をたてゐし（高岡／増澤千佳）

元朝のわがまなかいに立つ一樹、幹の真芯（ましん）を上る水声（福島／美原凍子）心平の「木」  
首相言う強く豊かな国にする そんなことより恒久平和（小山／大塚裕）

耳のタグあいたわしや山奥に逃がした子熊里で射殺され（福島県／添田敏夫）

捕まった母熊子熊ハンターはどちらを先にうつのだろうか（金沢／竹内一二）

コンビニで年を越したる店員の勤務交代「あけおめ」交わし（五所川原／戸沢大二郎）

苺狩りのビニールハウスの蜂たちは嫌われながら働いている（東京都／上田結香）

逆回転はじめた地球 気がつけば帝国主義の時代の真中（町田／村田知子）

最果てのグリーンランドを三度撫ぜやおら地球儀机にもどす（豊川／川合正秀）

危ないと感じているなら黙らずに声をあげねば戦前になる（加須／坂入やすのり）

おだやかに笑みつつ事は進捗し防衛予算も確保されたり（加東／藤原明）

まつりさんは命を絶った働いて働いて働いて働いて（高岡／池田典恵）高橋まつりさん。電通の新入社員として長時間労働・パワハラが原因で2015年クリスマスの日に自死、24歳。

ドラム缶の焚き火を囲む男たち股間に手をやり尻に手をやり（福岡県／末松博明）

男たち焚き火を囲む原始人（甲府／村田一広）


牡蠣も酒もふくらむほどの温（ぬく）め方（武蔵野／福田一政）


## アホウドリ 信天翁の身辺雑感（BMS3月例会案内）


🐼 不覚にも正月明けに風邪をひいてしまった。前号では故郷の雑煮のことを書いたが、体調がすぐれないと、昔毎朝食べて体の芯から温めてくれた茶粥が無性に食べたくなった。大和の茶粥は柿の葉寿司とともに今でこそ奈良の観光地では名物になっているが、米のとれない山地の粗末で素朴な食べ物である。紀の川と上流の吉野川流域の食文化はほぼ同じである。この地域では茶粥のことを「おかいさん」（かゆが転じた親しみをこめた丁寧な言い方なのだろう）と呼んでいた。米1合を1.5リットルくらいの水で煮る。ほうじ茶か番茶のティーバッグで茶の香ばしい香りと色を出す。仕上げに塩を少々。20分くらい弱火で煮て完成。フーフー言いながら茶粥を啜る。佃煮や漬物、金山寺味噌といっしょに食する。三杯も食べると満腹になる。高校生まではほぼ毎朝茶粥を食べて登校していた。私のソウルフードである。水で嵩増したので腹持ちは悪い。高校では2時間目が過ぎると学食へ駆け込んだものだ。祖母は昼も朝の残りのどろっとした茶粥を温め直して食べていた。そんな具合だから、白米ご飯にみそ汁、納豆といった朝食とは縁がなく、大学で上京した折に寮（和敬塾）の朝食で納豆なるものに初めて出会ったときの驚き、戸惑いは言うまでもない。外国人が初めて納豆や梅干を食べたときの違和感そのまま、しばらくは食べられなかった。

🐼 高い支持率のうちにさっさと解散。「自己中解散」と揶揄されているが、朝日新聞論説委員・高橋純子さんは「高市早苗の高市早苗による高市早苗のための解散選挙」と核心を突く。師と仰ぐ安倍晋三首相の森友・加計学園問題隠蔽のための「国難突破解散」を彷彿する。今回は韓国 TM 特別報告で明らかになった「統一教会隠し解散」。60年ぶりの次年度予算成立前の通常国会冒頭解散で白紙委任を迫る高市首相。立民があっさり安保法制・原発稼働を容認しての中道改革連合の新党設立＝左派・リベラル切りへと舵を切った。ベネズエラ侵攻、グリーンランド略奪を公言し、モロ帝国主義復活のアメリカ・トランプ政権。「逆回転はじめた地球 気がつけば帝国主義の時代の真中」（町田市 村田知子 朝日歌壇）にいる私たちだ。「危ないと感じているなら黙らずに声をあげねば戦前になる」（加須市 坂入やすのり 同）。高市首相が選挙で国民の信任を得たら、国論を二分するような改革を前に進めると言う。そして「自分たちで未来をつくる選挙」だとも。国論を二分するとは、「スパイ防止法」（廃案になった「国家機密法」）の策定、国民生活の監視にもつながる CIA 流の「対外情報庁」の創設、夫婦別姓を認めず「旧姓使用法」制定、奈良公園のシカ蹴りでっち上げても進

める「外国人政策の厳格化」、武器輸出「5 類型」の撤廃、防衛力の抜本的強化「非核三原則」の見直し、さらに「日本国国章損壊罪」の制定、旧宮家の男系男子を養子として迎え、男系天皇維持のための「皇室典範」改正、そして仕上げは憲法改正。9 条 2 項削除、集団的自衛権行使の全面容認、自衛隊ではなく「国防軍」保持を明記、緊急事態条項の明記など、とんでもない「改革」政策を実現するために「働いて、働いて、働いて、働いてまい」るのだそうだ。以上の政策を進めることが「普通の国」の仲間入りすることになるのだとも言う。自民に維新と参政と保守+国民を合わせれば憲法改正の動議に必要な 3 分の 2 に達するかもしれない国会情勢である。「戦後 80 年にわたり積み残してきた宿題を解決する」と強弁するが、とんでもない。アジアの世界の国々に約束してきた平和国家建設の誓いを、80 年間憲法の理想に近づくために、その実現のために闘ってきた誇るべき歴史を手放すわけにはいかない。「首相言う強く豊かな国にする そんなことより恒久平和」(小山市 大塚裕 同)なのだ。

 昨年からの米不足・値上がり、平和国家よりも軍事国家への危うい「普通の国」指向勢力の台頭で晩年の菅原文太さんのことを思い出す。2014 年 11 月 1 日、普天間基地の辺野古移設を当時の仲井間知事が容認に転じた後の沖縄知事選で、体調が思わしくないにもかかわらず翁長雄志さんの応援演説(総決起集会)に駆けつけた。1 万 5 千人の参加者を前に 11 分の渾身の「遺言」演説は語り継がれている——「政治の役割は二つあります。一つは国民を飢えさせないこと、安全な食べ物を、放射能汚染は駄目だ！ 食べさせること。もう一つは……、これが一番大事です。絶対に戦争をしないこと！」。圧巻は県民を裏切った前知事に映画「仁義なき戦い」の名セリフ「仲井間さん、弾はまだ一発残ってるがよ」を発したとき会場は大歓声に包まれ、オール沖縄陣営の人々を勇気づけた。その 27 日後、菅原文太さんは不帰の客となった。今の日本のあり様をどう思うだろうか。菅原文太さんは仙台一高出身、一年下に憲法学者の樋口陽一さん、作家の井上ひさしさんがいた。樋口陽一さんは法学者として護憲の立場で理論的支柱であるのは言うまでもないが、井上ひさしさんも菅原文太さんも護憲と農業とりわけ稲作・水田についてその重要性を説いていたことでも共通していた。

 アホドリ通信 1 稿を委員長の辻恵子さんに送ったところ、早速返信が来て亡くなったご母堂が「奈良県大宇陀の山深い中で育った人で茶粥は母のソウルフードでした」とのこと。辻さんとは加藤塾・松戸サークルでの繋がりほかにソウルフード・茶粥(おかいさん)の繋がりがあってうれしい驚き。同じく 1 稿の返信で、ご家族の関係でこのところオンライン参加の佐藤幸雄さんからは、1 月例会の松山幸路さんはじめ、次回の秋山亮介さん、次回オンラインセミナー講師の斉藤鉄也さん、山中尊生さん、吉田剛人さん、酒井大輔さんら中堅の活躍が頼もしいとの感想も寄せられた。次代の文芸研を担う面々に対する思い同感である。

 梅が咲くにつけて寒い風はだんだん向きを南に変えてきた。昨年 9 月から始まったマンションの大規模改修工事もと一ヶ月で終わる。足場が撤去され黒い覆いもなくなり外光

の明るさに今更ながら感謝する。もうすぐ立春。

**第60回記念  
文芸研全国大会(大阪)**

大会内容  
1日目  
基調提案  
実践報告  
文化行事 落語  
記念講演1 くすのき しげのりさん  
記念講演2 鈴木 大裕さん

2日目  
学年別分科会 7分科会  
領域別分科会 7分科会

in 枚方市

大会テーマ  
《もの見方・考え方》を育てる**国語教育**  
—真に深い学びを求めて—

2026年  
8月1 (土) 2 (日)

大会サポーターに登録して、学びになるオンラインセミナーやお得な情報を手に入れてください。→QRコードより

絵本作家  
くすのき しげのりさん

教育研究者・高知県土佐町議員  
鈴木 大裕さん



📷羽根木公園の梅

暮れと新春の「世田谷ボロ市」の次は、春を呼ぶ世田谷区羽根木公園の「世田谷梅まつり」。2月7日～3月1日開催。小田急線「梅ヶ丘」歩5分・京王井の頭線「東松原」歩7分。60種類670本の梅が咲きほこる世田谷早春の風物詩。

千葉文芸研

2026年1月31日  
9:00～12:00

# 国語の教室

オンライン

## かさこじぞうの授業

岩崎京子(教育出版2年生)

### 講師:辻恵子先生

国語の授業、もっとワクワクさせたいと思いませんか。

千葉文芸研では、教材を“深く・楽しく”読むことで、子どもたちの学びがぐっと広がる授業づくりをいっしょに考えていきます。

「初めての参加で不安…」という方も大歓迎。

子どもたちが教室でどんな表情を見せるのか、想像しながら学べるあたたかい学習会です。

冬にぴったりの「かさこじぞう」を題材に、授業のヒントをたっぷり持ち帰りませんか。

あなたのクラスの国語が、もっと楽しく、もっと豊かになる時間をお届けします。



お申し込みは  
以下から！



■じいさま、ばあさま、じぞうさまに語り手、読者の願いが実現する愛の世界。厳しい世界に生きる者同士の連帯の理想の世界が出現する。辻恵子が熱く語る。

# 子どもの主体性は、 こうして育つ — 北海道へき地小規模校の実践から —

2026  
2/21 SAT  
20:00-22:00

「子どもが自分から動き出す授業をつくりたい」と願うすべての先生におすすめの講座です。

北海道のへき地小規模校で、  
子どもたちの主体性はどのように育ったのか。  
「できない子」とされていた一人の子どもから始まった学びは、  
やがて仲間へ、学校全体へ、  
そして保護者や地域へと広がっていきました。  
このセミナーでは、

- 子どもの主体性が育つ具体的なプロセス
  - 小さな成功を積み重ねる授業づくり
  - 書くこと・読むことが子どもを解放していく瞬間
  - 学校と地域をつなぐ学びの可能性
- を、北海道のリアルな実践から学びます。  
規模の大小に関わらず、  
「子どもが自分から動き出す授業をつくりたい」と願うすべての先生におすすめの講座です。

文芸研北海道サークル（道東）

齋藤 鉄也

参加費 無料

開催場所 オンライン (zoom)

こんな人におすすめ！

- 若手で、授業や学級づくりに悩んでいる先生
- 子どもの主体性を育てたいと願っている方
- 実践に裏打ちされた話を聞きたい方

真に深い学びへのステップアップ

Speaker

お申込みは、  
こちらから→



お申込みは、下記のフォームからできます。

[HTTPS://FORMS.GLE/FFG3JDX2LUZHJAHQ6](https://forms.gle/FFG3JDX2LUZHJAHQ6)

文芸教育研究協議会

imokonoko54@gmail.com  
大阪大会実行委員 山中尊生

■道東の地で文芸教育+作文教育+総合学習の実践を展開する齋藤鉄也さんの講座です。

文芸研大阪大会プレオンラインセミナー特別企画（全4回）

zoom開催

参加費  
無料

講座「探究を生み出す教育的認識論と総合学習の設計」

## 第1回探究学習に有効な「教育的認識論」

2026. **1.24** SAT  
20:00~21:30（開場 19:50）

真に深い学びへのステップアップ

東日本大震災後の子ども達の実態から「僕も復興させたい」と成長するまで



講座  
内容

### 「探究を生み出す教育的認識論と 総合学習の設計」

総合学習を任されても、「何を教え、どこまで深めればいいのか」と迷っていませんか。

物語・説明文・作文を切り離さず、関連・系統的につなぐことで、学びは一本の太い軸をもち始めます。

国語で育てた認識の力は総合学習へと広がり、子どもが自ら問い、考え、語り出す教室が生まれます。

授業づくりの確かな拠り所を、ここで手にしてください。

- ・ 第1回探究学習に有効な「教育的認識論」1/24
- ・ 第2回子どもが震災体験の「意味づけ」を通して深く学ぶ探究学習 2/14
- ・ 第3回総合学習における単元構想と評価 2/28
- ・ 第4回自ら変革主体となる（学校と地域にて）3/21

講師

### 徳水博志 氏

文芸研宮城サークル  
元石巻市立雄勝小学校教員  
現在 一般社団法人雄勝花物語共同代表

著作

文芸研の授業9総合学習選

「森・川・海と人をつなぐ環境教育」明治図書2004年

「震災と向き合う子どもたち」新日本出版社2018年

共著「生存の東北史」大月書店2013年

文芸教育95.96.97号「地域の復興なくして学校の再生なし」

DVD「ぼくたちわたしたちが考える復興・夢を乗せて」

日本児童教育振興財団2014年

### 参加方法・申込方法

[主催] 文芸教育研究協議会  
imokonoko54@gmail.com  
大阪大会実行委員 山中尊生

1回ずつの参加でも学びになる構成になっていますので是非、ご参加下さい。申込み→  
<https://forms.gle/muF7gE9hqiBnXEEd38>



■特別企画第2回2月14日／第3回2月28日／第4回3月21日  
「質の高い教師」(福井雅英 新日本出版社 2025)で紹介された徳水さんの連続講座

## 第81回八王子文芸研2月基礎講座ご案内

### 🐸「お手がみ」で何をどう教えるか📖



↑「お手がみ」アーノルド・ローベル作／  
三木卓訳／文化出版局ミセスこどもの本 1972

昨年10月31日、「スイミー」(レオ・レオニ作・谷川俊太郎訳 教育出版ほか)の教材分析と授業のポイントについての学習以来の久々の基礎講座を開催します。

「お手がみ」も教科書3社に採用されている低学年定番教材です。作品の最大の特質である対話形式とユーモア体験をふまえた授業を構想します。「お手がみ」には謎がいっぱいです。①かえるくんという友達がいるのになぜくふしあわせなのか？ ②なぜ、かえるくんは自分で手紙を届けないのか？よりによってなぜかたつむりくんに頼んだのか？ ③形式ばった手紙のどこがとてもしゃべり手紙なのか？ ④中身の知れた手紙をなぜ二人は四日間も玄関で待つのか？——この空所を埋めること(《理由》を考えること)が授業のポイントです。下記の日程・会場・内容で開催いたします。皆様の参加をお待ちしています。

ハイブリッドで実施予定です。参加希望の方は、小松小百合(世話人・八王子市立中学校)までメールで申し込んでください。

メールアドレス：[waratte.everyday@gmail.com](mailto:waratte.everyday@gmail.com)

**2月13日(金)18時～20時**

**八王子市立高嶺小学校(オンライン参加可)**

**講師：上西信夫(前文芸研委員長)**

\*文芸研(文芸教育研究協議会)：文芸学者・西郷竹彦が創設した国語科全領域(文芸・説明文・読書・作文)を研究対象とした民間国語教育団体。西郷文芸学と教育的認識論をベースに全国に約30のサークルが例会活動を中心に国語の授業づくりに取り組んでいる。25年8月2・3日に千葉県流山市・柏市にて全国大会を開催した。26年夏は、8月1・2日大阪大会(枚方市)を開催予定。

■友情という真面目なテーマを軽やかに面白く体験する。文芸の美と真実とは何か具体的に学べる珠玉の教材

